

令和四年

# 松香 Komunikado

令和四年六月度月次祭 ごあいさつ

分苑長 山本 健

Saluton al ciuj!

皆様こんにちは。

神の家の草木も剪定され風通しもよくなり、木々も喜んでるように思います。

ただいまは令和四年六月度の月次祭に引き続き、山本文子相談役の一年祭を多くの方々のご参拝を賜り齋行させていただき、誠に有難うございました。

本日の年祭祝詞にも載せておりますが、相談役の信仰の在り方をご紹介させていただきます。

☆松香信徒はみな家族

相談役は、「松香信徒はみな家族」ということを松本先生の時代から、引き継ぎ全うしてきました。身の上相談も一日に八時間以上にも及び、手ぶらで電話ができるようにヘッドセットを使って家事や用事をしながら、電話をしていました。いつも身の上相談、病氣祈願など本心に親身になってしておりました。お取次ぎも最も多い時期は半紙を月に千枚使っていました。一枚の半紙で、

六月十二日発行

第二百九十一号

大本松香分苑

豊橋市南牛川二・三・二〇

電話 ファックス

〇五三二一・六三二・二七三

発行責任者 山本 健

続けて何回もお取次ぎすることもありますので、お取次ぎ件数は、枚数以上です。「身を捨てて、みちに尽くさば、みちもまた、捨て身の人を捨てず助くる」聖師様のお歌そのもの信仰生活でした。

☆改革と実践の松香

宣教お導きに関しましては、大本松香四十年記念誌を斌子と編集、後継者育成のための少年用祭服を装備、又後継者育成を目的とした子供向けアニメビデオ竜に乗った少年・天国へのチケットの制作、大神様のありがたさを広く世に伝えるべく御神徳談集の編集、身て代お取次ぎに大いなるお力を頂ける神文の携帯版製作、御神前に設置したガラス張りの乳幼児向け参拝室など、いつも先駆けて改革してまいりました。健康食品店ルーモも半世紀近くになります。相談役が「大本も健康食品を推奨すべき」と四代様に提言して、ドーモが設立されました。月次祭のオンライン参拝も全国に先駆けて行いました。これらは、良き型として大本、そして全国に広がりつつあります。綾部の松香館、亀岡のルーモ館も偶然ではないと思います。更に何よりも信徒の方々が家族同様に和気あいあいと参拝していただけるのが、相談役の一番喜ぶことと思います。

☆良き型を出していくのが松香の役割

最後の目標は、「松香分苑を本苑へと発展」させていくことでした。松本先生が、聖師様から賜ったお言葉で、「神様は神様を知らない人に神様の存在を知らしめる事が、神さまが一番お喜びになられる」と母松本松子から聞いたと相談役は、いつも申ししておりました。又相談役は「自分や自分の家族が入信して大神様の御守護を受けるだけでは、われ良し信仰になる」と、宣教活動の大切さを自ら実践し、一人でも多くの方が大神様の存在を知って入信されることを切に願って、お世話活動に徹して居りました。その結果として本苑に発展させなければという目標を持っておりました。こうした松香の改革と発展を、大本全体に良き型としてだしていくという精神を受け継ぎ実践していくことが、我々松香の役割であると思います。

☆天界から強力な支援

相談役もまだまだ現界で御用がさせてもらえらると思っていたと思いますが、いづのめしんゆ 一五八ページに「変性男子の身魂（開祖様）は、現世で百歳の寿命が与えてありたなれど、あまり仕組が後れるから、天へ上がりて守護いたすために早く上天さしてご苦労になりておるぞよ。」とありました。相談役も予定より早く靈界に帰り、当分苑の発展とそれが良き型となつて、大本全体が発展していくように、力強く守護してくれていると思いますので、今後は今まで以上に宣教が進んでいくものと思います。相談役はいつも「大神様から内流がもらえるようにならなければいけない」とも申ししていました。靈界物語第四七卷第十三章下層天国の末ページに

「三五教の聖言にも『師匠を杖につくな、人を力にするな。ただ神のまにまに活動せよ』とおっしゃるのだ。」とお示しがあります。これから我々が自立していく大切な時と思います。宣教に必要なものはすべて残してくれました。あとは大神様、教主様のお力を頂いて宣教活動にご奉仕させていただけるよう、信徒一同そろって頑張つていきたく思っております。それが、松本先生、相談役の苦勞、努力、恩に報えることであり、大神様の願われることと思います。その結果として我々が一番お蔭を頂けるものと思います。

☆松香分苑から良き型を大本へそして世界へ

三代様から「松香分苑は、大本神教宣伝使松本マツ子先生が、大神様からいだかれた御神徳によつて拓かれ、かつ育ててこられた信徒の方々集いあう神聖な家であります。それで、分苑名も地名でなく、同分苑の香り高い不動の信仰を象徴したコトバになっています。」とのお言葉を頂いております。

五代教主様が平成十六年度秋季大祭にご親教にお見えなられた際のおことばで「『松香』の名前のとおり、今後とも、永久（とわ）にかわらぬ松ごころで、香り高い信仰のもと、皆様の身近な生活の中で、一人一人ができること、小さいことでよろしいですから、良い型をだして、世界に発信していただき、この松香分苑が益々発展していきますことを心からお祈り申し上げます。わたくしのお祝いとお礼のことばとさせていただきます。」とのありがたいお言葉と、この時「神力」「松香」の二枚のお色紙を賜りました。

以上のように、特別の使命を持った分苑であることを、信徒一人一人が自覚して、良き型を大本にそして世界に出させていただく尊い大神様の御用にお仕えさせていただきます。ありがとうございます。

本日は遠方からも多くの方々の参拝を頂き、これが「松香信徒はみな家族」であることを改めて実感させていただきました。皆様方のご厚誼に心より御礼申し上げます。本日は誠に有難うございました。

そのほか二点をお話しさせていただきます。

一、具志堅幸司元日体大学長による講演会について

先日の五月十三日（金）に、桜丘学園理事長様より「十一月十三日（日）に決まりました。」と電話を頂きました。月次祭後、午後一時半から三時の一時間半でご講演頂く予定でございます。桜丘高校の生徒先生で聴講希望者が現時点で百七十名おられるようです。岸本様主体で現在制作していただいています、松香分苑ホームページと合わせて、この講演をきっかけに宣教活動が大きく展開できますように、皆様方には、一人でも多くの方をお誘いの上、ご聴講いただきますようお願い致します。またチラシ作成や会場の準備そしてご献金などにつきましても、ご協力の程宜しくお願い致します。

二、分苑庭木の剪定について

五月三十日（月）に神の家の庭木の剪定を業者（シルバーセンター）にさせていただきました。また、下草は、山本と富田様とで何日かにかけてご奉仕させていただきますました。写真のように非常にすっきりして気持ちよくなりました。十一月の具志堅教授様のご来苑に向けて、更に分苑内外を整備していきたく思っておりますので、ご協力お願い致します。

Koran dankon



剪定後



剪定前